



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月12日

上場会社名 ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 6544 URL <https://www.jes24.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 石田 克史
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長CFO (氏名) 今村 公彦 TEL 03-6262-1625
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	23,264	17.0	3,926	30.6	3,946	30.2	2,522	30.6
2024年3月期中間期	19,887	24.4	3,005	45.0	3,031	39.8	1,930	37.8

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 2,583百万円 (31.1%) 2024年3月期中間期 1,971百万円 (37.9%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	28.32	28.22
2024年3月期中間期	21.68	21.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	33,637	17,140	50.1
2024年3月期	32,539	16,789	50.8

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 16,843百万円 2024年3月期 16,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	-	-	25.00	25.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	30.00	30.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 配当予想の修正については、本日（2024年11月12日）公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	11.3	8,000	17.3	8,000	16.8	5,100	12.9	57.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期中間期	89,067,200株	2024年3月期	89,067,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	9,687株	2024年3月期	9,477株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2025年3月期中間期	89,057,606株	2024年3月期中間期	89,058,207株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当中間決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の中間連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当中間連結会計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前中間連結会計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(当中間期における連結範囲の重要な変更)	9
3. その他	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い、景気動向は緩やかに回復しているものの、ウクライナ情勢の長期化や円安の進行に伴う物価上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況にあることから、企業の経費削減ニーズは今まで以上に高まると予想されております。

エレベーター等のメンテナンス業界においては、マンションストック戸数は順調に増加を続けていること及びオフィスビルの供給量の増加等に伴い、市場は緩やかな拡大傾向にあります。

このような市場環境の下、当社グループは、独立系メンテナンス会社への契約切り替えによる企業のコスト削減ニーズに応えるため、全国展開体制の更なる整備、人材獲得・育成による品質安全強化、営業体制の強化を行ってまいりました。また、前連結会計年度に兵庫県宝塚市にJES Innovation Center Kansai(通称 JIK)を竣工いたしました。JIKの竣工により、部品を迅速かつ安定的に供給できる体制の構築、リニューアル供給能力の強化等西日本エリアにおけるサービス品質の更なる向上を目指してまいります。

保守・保全業務については、保守契約台数が堅調に推移し、当中間連結会計期間の保守・保全業務の売上高は14,691百万円(前年同期比16.6%増)となりました。リニューアル業務については、事業拡大に備えた営業体制の強化や部品供給停止物件の提案強化等により、当中間連結会計期間のリニューアル業務の売上高は7,822百万円(前年同期比18.2%増)となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は23,264百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は3,926百万円(前年同期比30.6%増)、経常利益は3,946百万円(前年同期比30.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2,522百万円(前年同期比30.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より1,098百万円増加し、33,637百万円となりました。これは主に、原材料及び貯蔵品が1,146百万円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における総負債は、前連結会計年度末より747百万円増加し、16,496百万円となりました。これは主に、長期借入金が862百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より351百万円増加し、17,140百万円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する中間純利益を2,522百万円計上したことにより増加した一方で、配当金の支払により2,226百万円減少したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前中間連結会計期間に比べ927百万円増加し、2,180百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,375百万円(前年同期は2,555百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益3,942百万円、減価償却費756百万円等の増加要因に対し、棚卸資産の増加額1,261百万円、法人税等の支払額1,500百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、投資活動の結果使用した資金は738百万円(前年同期は1,693百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出581百万円、無形固定資産の取得による支出237百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,357百万円(前年同期は1,578百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,600百万円等の増加要因に対し、長期借入金の返済による支出1,499百万円、配当金の支払額2,226百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想については、2024年5月13日に公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,184	2,448
受取手形、売掛金及び契約資産	6,439	5,929
原材料及び貯蔵品	4,243	5,390
その他	723	1,041
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	13,575	14,794
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,256	6,187
工具、器具及び備品(純額)	4,618	4,686
その他(純額)	1,737	1,778
有形固定資産合計	12,612	12,653
無形固定資産		
のれん	2,093	1,967
その他	2,330	2,348
無形固定資産合計	4,424	4,315
投資その他の資産		
その他	1,970	1,906
貸倒引当金	△43	△32
投資その他の資産合計	1,926	1,873
固定資産合計	18,963	18,842
資産合計	32,539	33,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,616	1,808
短期借入金	3,535	3,313
1年内返済予定の長期借入金	2,274	2,512
未払法人税等	1,788	1,675
賞与引当金	948	965
その他	2,811	2,516
流動負債合計	12,974	12,792
固定負債		
長期借入金	903	1,766
退職給付に係る負債	1,287	1,345
資産除去債務	445	453
その他	138	138
固定負債合計	2,774	3,704
負債合計	15,749	16,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,493	2,493
資本剰余金	2,576	2,570
利益剰余金	11,591	11,886
自己株式	△13	△13
株主資本合計	16,647	16,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	△69	△54
退職給付に係る調整累計額	△44	△40
その他の包括利益累計額合計	△112	△93
非支配株主持分	254	297
純資産合計	16,789	17,140
負債純資産合計	32,539	33,637

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	19,887	23,264
売上原価	12,512	14,426
売上総利益	7,374	8,838
販売費及び一般管理費	4,369	4,912
営業利益	3,005	3,926
営業外収益		
保険解約返戻金	19	19
受取賃貸料	13	18
その他	23	23
営業外収益合計	56	61
営業外費用		
支払利息	11	16
為替差損	3	8
その他	15	16
営業外費用合計	30	40
経常利益	3,031	3,946
特別利益		
固定資産売却益	3	3
負ののれん発生益	2	-
特別利益合計	5	3
特別損失		
固定資産除却損	0	5
その他	0	1
特別損失合計	1	7
税金等調整前中間純利益	3,036	3,942
法人税、住民税及び事業税	1,108	1,365
法人税等調整額	△29	16
法人税等合計	1,079	1,381
中間純利益	1,956	2,560
非支配株主に帰属する中間純利益	26	38
親会社株主に帰属する中間純利益	1,930	2,522

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,956	2,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	9	19
退職給付に係る調整額	4	4
その他の包括利益合計	14	22
中間包括利益	1,971	2,583
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,935	2,540
非支配株主に係る中間包括利益	35	42

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	3,036	3,942
減価償却費	676	756
のれん償却額	134	133
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△12
賞与引当金の増減額(△は減少)	39	16
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	40	64
支払利息	11	16
負ののれん発生益	△2	-
固定資産売却益	△3	△3
固定資産除却損	0	5
保険解約返戻金	△19	△19
売上債権の増減額(△は増加)	△533	536
棚卸資産の増減額(△は増加)	△577	△1,261
未収入金の増減額(△は増加)	370	22
仕入債務の増減額(△は減少)	279	192
未払消費税等の増減額(△は減少)	97	△156
その他	35	△341
小計	3,576	3,892
利息及び配当金の受取額	3	0
利息の支払額	△11	△16
法人税等の支払額	△1,012	△1,500
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,555	2,375
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	-	△10
有形固定資産の取得による支出	△1,251	△581
無形固定資産の取得による支出	△302	△237
保険積立金の解約による収入	53	44
敷金及び保証金の差入による支出	△25	△25
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△122	-
その他	△45	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,693	△738
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,308	△221
長期借入れによる収入	2,400	2,600
長期借入金の返済による支出	△1,147	△1,499
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△1,513	△2,226
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,578	△1,357
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△702	304
現金及び現金同等物の期首残高	1,955	1,875
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,253	2,180

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(当中間期における連結範囲の重要な変更)
該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。